

成績アップにつながる！ 教科別・勉強法ガイド



目次



1 >> 英語の勉強法

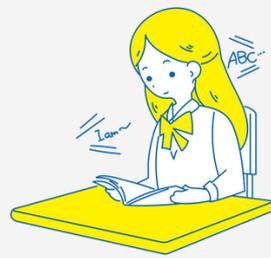
2 >> 社会の勉強法

3 >> 国語の勉強法

4 >> 数学の勉強法

5 >> 理科の勉強法

英語の勉強法



単語の覚え方

・単語の正しい発音を調べ、声に出しながら書く

単語を発音しながら書けば、手や耳、口などさまざまな部分を使うため、記憶に定着しやすくなります。また、正しい発音を知らないとリスニングのときに聞き取れなくなってしまうので、必ずスマホなどで調べる癖をつけましょう。

・何も見ないで単語を書けるか、自分でテストをする

お手本を見ながら練習をしてもあまり覚えられません。何回か練習したら、何も見ずに書けるかを自分でテストしましょう。それで書けたら次の単語、書けなかったらもう少し練習をしてまたテストをします。最後にすべての単語をもう一度テストして、すべて書ければ大丈夫でしょう。

文法の勉強法



・なぜその答えになるのかを考えて、友達に説明できるようにする

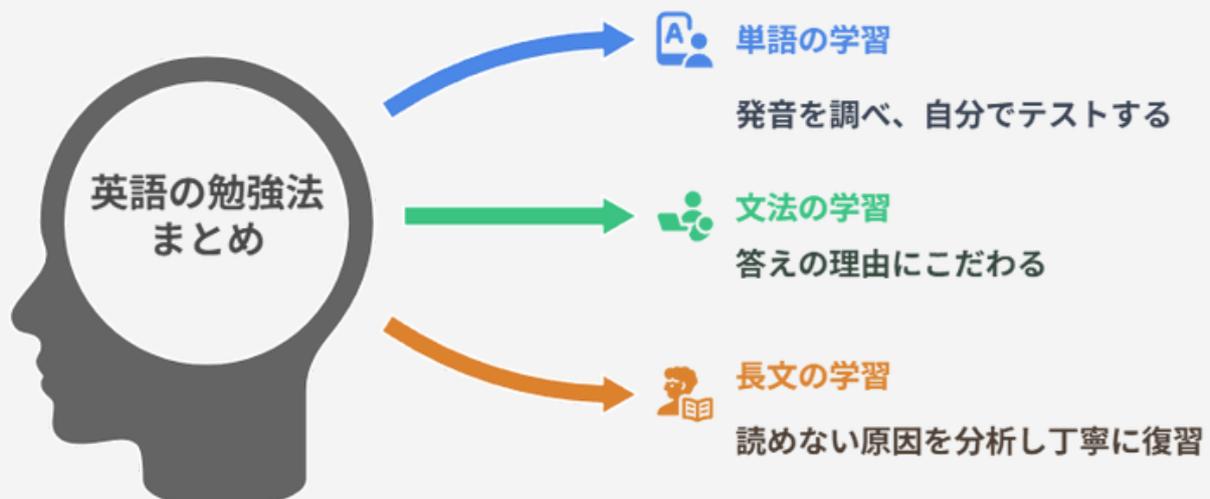
文法を身につけるには、とにかく頭を使って考え、誰かに説明できるようにすることです。では“**He read this book.**”を和訳して、なぜその訳だと思ったのか説明してみてください。答えは「**彼はこの本を読んだ。**」という過去形の文です。理由は現在形なら主語が“**He**”なので、“**read**”に三単現の**s**を付けないといけないからです。これはあくまで一例ですが、音やリズムで感覚的に英語を考えずに、なぜその答えになるのか、理屈をもって答えられるようにしましょう。

英語長文の勉強法



・長文こそ復習！問題を解き終えてからが本番

「どうすれば英語の長文が読めるようになりますか？」という質問はとても多いですが、その答えはしっかりと復習をすることです。いろいろな長文を手当たり次第に解いて数をこなしても、読解力は身につけません。長文の中に分からなかった単語や表現、訳せなかった文章など何かしらはあるはずですが、解説をよく読んで、自分が訳せなかった原因を1個ずつ潰していきましょう。自分1人では解決できないときは先生を頼ってください。1文1文を丁寧に復習しましょう。



社会の勉強法



地理・歴史・公民の覚え方

・まずは学校の教科書を読み込むこと

地理・歴史・公民のすべてに共通して言えますが、まずは**教科書や参考書をしっかりと読み込むこと**から始めましょう。社会は単語だけを暗記すれば解ける科目ではないので、全体像をつかむことを優先すべきです。

いきなり一問一答をやっても効果は薄いです。**教科書を読んで全体の内容を押さえたうえで、単語の暗記や問題演習を行いましょ**う。勉強の順序を間違えないように気をつけてください。

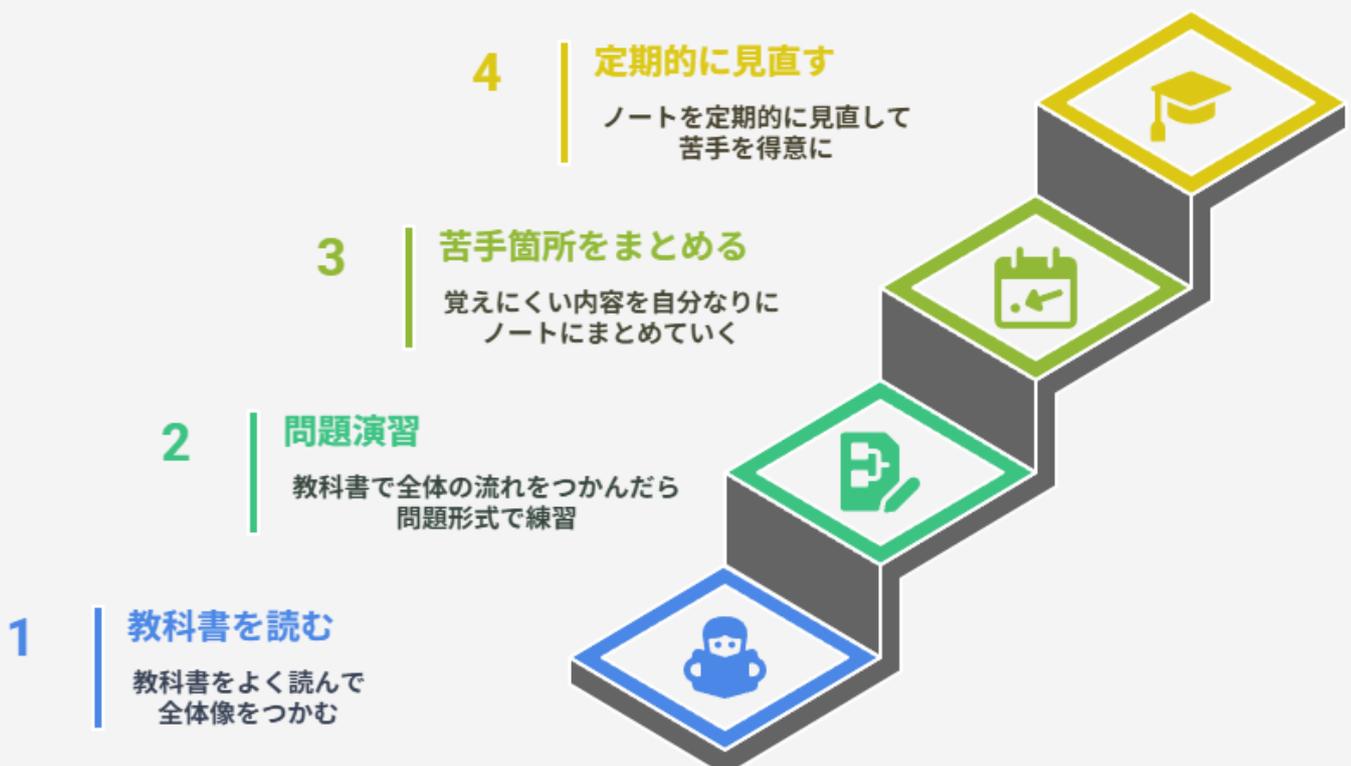


・どうしても覚えにくいものは自分なりにまとめる

勉強をしていく中で、どうしても覚えにくい内容が出てくると思います。そういった**自分の苦手箇所はノートに自分なりにまとめ**ましょう。そして休み時間や、寝る前に見直すようにします。このときも英単語の練習と同じく、何も見ないで答えられるかをテストしてあげると覚えやすくなります。

これを繰り返していけば、**自分の苦手箇所がまとまった1冊のノート**が出来上がっていきます。そして定期的に見直していけば、確実に**苦手→得意**に変わっていくはずですよ。

社会の勉強法 まとめ



📖国語の勉強法



漢字の覚え方

・英単語の練習と同じく、自分でテストをする

漢字の練習も英単語の練習と同じです。何回か練習をしたら、何も見ないで書けるかをテストしてあげましょう。練習するときは、漢字の読み方を声に出しながら書くようにします。何回書いた方がいいとかはありません。覚えられるまで書きましょう。



文法の勉強法

・英文法と同じで、なぜその答えになるのかを考えること

国語の文法も英語の文法も同じです。答えには必ず理由があるので、考えることから逃げずにしっかり頭を使いましょう。

ただし、動詞・形容詞・形容動詞などの活用のしかたや助動詞の意味など、暗記をしなければならない点もあるので、覚えるべきことは覚えないと解けるようにはなりません。

まずは暗記すべき点を頭に入れたうえで、根拠を持ちながら問題演習を重ねていきましょう。

読解問題の勉強法

・まずは語彙力を高める



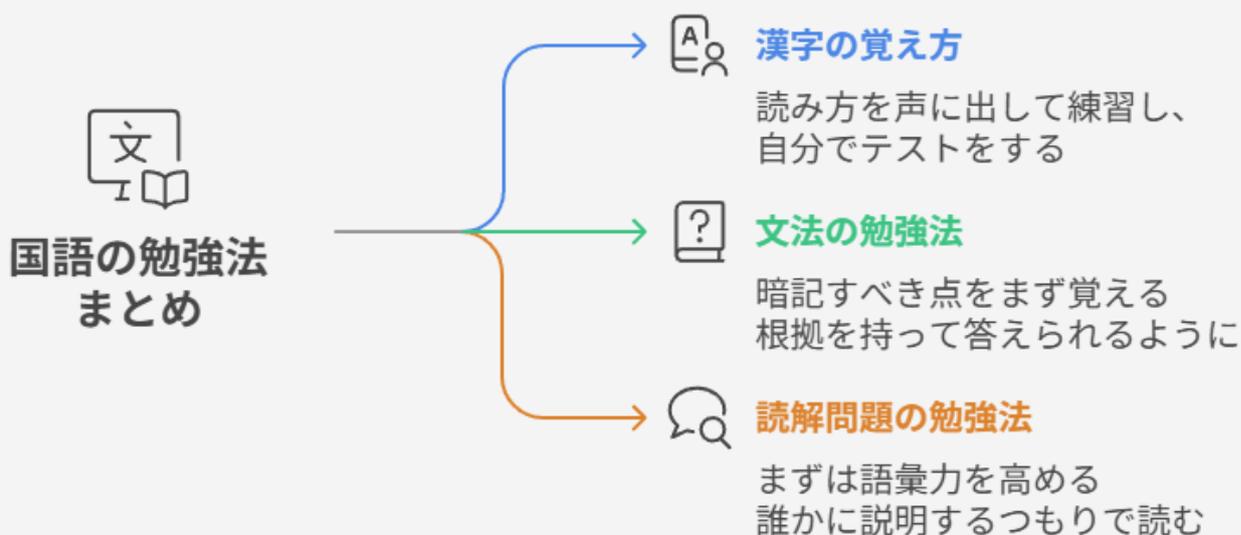
英単語が分からないと英文を読めないのと同じで、語彙力がないと、たとえ日本語の読解であっても正しく読み取ることはできません。少しでも意味が分からない言葉があったら積極的に調べる癖をつけましょう。

・誰かにその話を説明するつもりで読む

文章問題が苦手な子の大半はただ文字を追っているだけで、文章の意味はよく分かっていないものです。「結局どういう話なのか」「筆者は何が言いたかったのか」という点がつかめなければ、当然ですが正答することはできません。

そのため文章を読んでいるときは、誰かにその話を説明するつもりで読んであげましょう。心の中で「そうなんだ」「なんで？」など相槌を打ち、筆者と対話するように読むようにすると、内容が頭に入ってきやすくなるはずです。

勉強法とは少し違いますが、文章を読むときの意識をまず変えてみましょう。



数学の勉強法

応用問題につながる勉強法



何よりも基本を大切にする

すべての教科に共通しますが、特に数学では『基本』を大切にしてください。たとえ応用問題の解き方を理解できたとしても、『基本』が疎かだと正しい答えまでたどり着けません。中3の因数分解を例に説明します。

$$\begin{aligned} \text{【例】 } & 4a^2 - 9b^2 + 6bc - c^2 \\ & = 4a^2 - \underline{(9b^2 - 6bc + c^2)} \\ & = 4a^2 - \underline{(3b - c)^2} \\ & \quad \vdots \\ & = (2a + 3b - c)(2a - 3b + c) \end{aligned}$$

項が4つの応用問題
この場合は、項を1つと3つに分けます
基本を大切にしていない中学生は
ここの因数分解でミスが生じます



『なぜ』を常に意識しながら勉強する

数学の勉強において「なんとなく」や「そう思ったから」など、**根拠のない答え**は絶対にNGです！反対に、**自分なりの根拠があれば不正解でもOK**です。正しい解法をその後に身につけてください。

正解するのはテストのときだけで十分なので、『なぜ』を意識した勉強を心がけましょう。

☆上記の例題：『なぜ項を1つと3つに分けて解くのが正しいのか？』

項が4つの因数分解 $\left\{ \begin{array}{l} 2-2 \text{ で分ける} \rightarrow \text{共通因数でくくる} \\ 1-3 \text{ で分ける} \rightarrow (\underline{\quad})^2 - \text{〇}^2 \text{ の形にする} \end{array} \right.$

▼つまり

2乗の項が3つ必要！

$\Rightarrow 4a^2 - 9b^2 + 6bc - c^2$ 2乗の項が3つだから1-3で分ける



これが理解!!

数学の勉強法 まとめ



基本を大切に

解法が分かっていても、基本が疎かだと正解はできない



なぜを意識する

根拠のない答えは絶対にNG
『なぜ』を常に意識すること

理科の勉強法

語句の覚え方

・語句の由来やゴロ合わせを使う

ただ何度も練習して語句を覚えるのではなく、工夫をして効率よく覚えていきましょう。たとえば植物の単元で出てくる“種子植物”や“双子葉類”ですが、種子で増えるから“種子”植物ですし、子葉が2枚なので“双”子葉類です。語句の意味を考えれば簡単に覚えられます。反対に、意味が分かりづらい語句はゴロ合わせを使って覚えてしまいましょう。例として中1で習う火成岩のゴロ合わせを紹介します。

深成岩(しん)	花こう岩(かん)	閃緑岩(せん)	斑れい岩(は)
火山岩(か)	流紋岩(り)	安山岩(あ)	玄武岩(げ)

白っぽい ←————→ 黒っぽい

 頭文字をとって『新幹線はカリアゲ』



↓
玄武岩の“玄”は
玄人(くろうと)の“玄”
= 黒っぽい

計算問題の勉強法

・計算＝難しいと決めつけない

理科の計算問題が得意という中学生は少ないです。その理由は、“計算”というだけで“難しい”“解けない”と決めつけているからです。

しかし理科の計算問題は、数学のように複雑な計算をしません。小数の計算や比例式ができれば簡単に求められます。中2の銅と酸素の反応を例に、実際に解いてみます。

【問】銅1.6gに結びつく酸素の質量は何gか。

Step1：銅と酸素の反応比は、 $\text{Cu} : \text{O}_2 : \text{CuO} = 4 : 1 : 5$

Step2：求めたいものをXと置く

今回は酸素の質量をXgとしましょう

$$1.6 : X = 4 : 1$$

$$4X = 1.6$$

$$X = 0.4(\text{g})$$

ゴロ合わせを使って
『良い子(415)』と覚えよう！



理科の勉強法 まとめ

計算問題

難しいと決めつけて
逃げない
計算は意外に簡単！



語句の覚え方

言葉の意味や
ゴロ合わせを
上手に使う